

生活に必要な布はどこから生まれ、どこへ向かうのでしょうか？

布の循環の物語を紹介します。

たかすかかつら

高須賀活良作品展

「草木の恵みと布のものがたり」

2025年2月26日(水) - 3月23日(日)



品川区立環境学習交流施設エコルとごし(東京都品川区豊町、館長: 中藏 康之)は、2025年2月26日(水)から3月23日(日)まで ^{たかすかかつら}高須賀活良作品展「草木の恵みと布のものがたり」を開催いたします(観覧自由・無料)。

高須賀活良は、“モノづくりの始まりは「土」からである”というコンセプトのもと、石器時代から作られてきた原始布を研究。日本各地を旅し、その土地にある素材にインスピレーションを受け作品を制作してきました。自然由来の素材を使い立体作品やインスタレーション作品を制作する中で、人間と自然の関係性を再考し、テキスタイルの歴史的・技術的価値を研究しながら新たな表現を模索し続けています。

私たちが身にまとう衣服を作る素材の多くは、現代においても木や草をはじめとした”自然の恵みから生み出したもの”です。草木や虫の吐く糸から繊維を集め、糸を紡ぎ、布に仕立てるテキスタイルづくりは、人類が何万年もの歳月をかけて作り上げてきました。

本展では、布と人の関係性をテーマに活動を行う高須賀活良の作品を通して、草木の恵みから始まる布の循環の物語、そして私たちの身近な衣服のもとである「布」に焦点を当て、作品を鑑賞するだけでなく、「布と環境について」考えていただける機会となることをめざします。

期間中ご希望の方には、総合案内でクイズカードを配布します。展示をみながらクイズに答えるのも楽しみ方の一つです。公共施設ならではのオープンな空間で、誰もが気軽に作品と出会い、布の成り立ちや環境について目を向ける機会になれば幸いです。

<開催概要>

たかすかかつら 高須賀活良作品展 「草木の恵みと布のものがたり」

[開催期間] 2025年2月26日(水)～3月23日(日)

[会場] 品川区立環境学習交流施設 エコルとごし

[開館時間] 7:00～21:30 ※観覧は無料です。どなたでも自由にご覧いただけます。※期間中の休館日はありません。

<本展の見どころ>

■ 参加型作品の展示



・「Yuu ～ 預かり、生まれる布」^{こうぞ} 楮作品

2024年12月24日(火)に事前ワークショップ「楮の樹皮から布を作ろう！」を開催。和紙の原料として使われている楮の木の皮の繊維を来館者と広げる体験をしました。作家と来館者が交流しながら広げた楮は、作家が繋ぎあわせ、作品となって展示されます。阿波(徳島県)の豊かな自然が育んだ楮を用い、土から生まれた布を鑑賞することができます。

■ コミュニティラウンジでの展示



・「Rebirth」草木染め作品

作家が生活の中で見つけた木の枝や実、草などを集め、お湯で煮だした液を衣服と同じ素材(綿、麻、毛、絹)にしみ込ませた草木染め作品を開放的なコミュニティラウンジに展示します。草木染めは植物など天然のものから色を得る染色方法であり、身近な植物が持つ色の優しさや奥深さを感じることができます。



▲ 過去の展示風景 (上下とも『Rebirth』さいたま市プラザノース 2015年)



▲ エコルとごし コミュニティラウンジ

■ 作家が講師を務める関連イベントの開催

期間中の3月8日(土)には、作家本人が講師を務めるワークショップ「着なくなった服で織物のコースターを作ろう!」を開催いたします(小学生~どなたでも/事前申込制/無料)。古くなった布を裂いて織る「裂き織り」体験として、不要になった服やシャツなどを再利用しオリジナルコースターを作ります。

<関連イベント概要>

着なくなった服で織物のコースターを作ろう!



日時: 3月8日(土)10:00~12:00

会場: 3F 多目的スペース / 参加費: 無料 / 講師: 高須賀活良

対象: 小学生~どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴) / 20名

申込期間: 1月25日(土)~2月15日(土)必着※HPの専用フォームまたは往復はがきにて

詳細は <https://ecoru-togoshi.jp/event/workshop/20607/>

持ち物: 横糸として使用する「裂き布」

不要になったTシャツ・シャツ・手ぬぐいなどを幅1~2cm程度の紐状にカットしてお持ちください。1枚のコースターを作るのに紐状にして約4~5m必要です。

<作家プロフィール>

高須賀 活良 Takasuka Katsura

アーティスト・ディレクター

東京造形大学テキスタイルデザイン専攻、2011年修士号取得。日本各地を旅し、その土地にある素材にインスピレーションを受け作品を制作。

また国内外で作品を発表する一方、織物産地でのテキスタイルデザイン、ブランド立ち上げ、アートディレクターとして幅広く活動。

織物を楽しく学べる教科書「ハタオリ学」(富士吉田市)の編集著者として2024年グッドデザイン賞受賞。



広報用画像をご希望の際は以下番号をお知らせください。



①メインビジュアル



②ポスター



③スクエアサイズ



④ 楮の樹皮

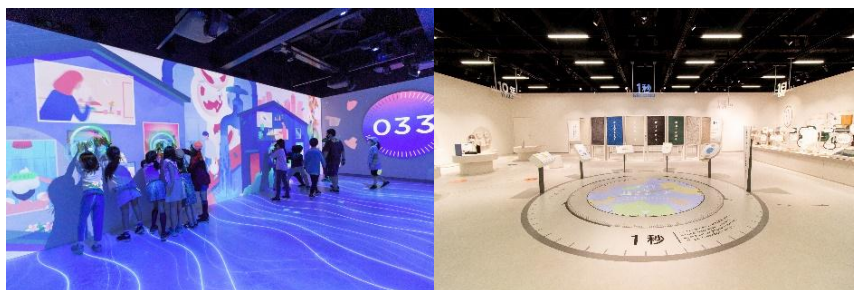
品川区立環境学習交流施設エコルとごし 施設概要



～都内公共建築物で初めて「Nearly ZEB*」認証を取得した環境にやさしい建物～

品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」は、自然豊かな戸越公園の中にあります。空間全体を使った映像展示や、「時間」をテーマにした常設展示など、体験型展示・イベントで、地球環境について身近な視点で楽しみながら学べる施設です。早朝から夜間まで利用できる開放的なラウンジをはじめ、キッズスペースや貸室など、地域における憩いと交流の場として広く多世代に利用されています。

*「ZEB(ゼブ)」とは、「Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」の略称です。快適な室内環境を保ちながら、省エネにより使うエネルギーを減らし、太陽光発電などでエネルギーを創り出すこと(創エネ)で、建物で使うエネルギー収支をゼロにすることをめざした建築物です。エコルとごしは2023年度実績で、標準的な建物と比較して、消費エネルギー98.5%削減を実現しました。



- 施設名 品川区立環境学習交流施設 エコルとごし
- 所在地 東京都品川区豊町2-1-30(戸越公園内)
- 開館時間 7:00～21:30(3F 環境学習展示エリア・キッズスペース等は9:00～18:00)
- 休館日 毎月第4月曜日(祝日の場合は開館し、翌平日休)、
年末年始(12/29～1/3)
- アクセス
東急大井町線 戸越公園駅・下神明駅より徒歩7分
東急池上線 戸越銀座駅より徒歩15分/都営浅草線 戸越駅より徒歩12分
- ホームページ <https://ecoru-togoshi.jp/>



【お問い合わせ】 品川区立環境学習交流施設エコルとごし 広報担当:石橋・丹羽
TEL:03-6451-3411(休館日を除く9:00～20:00)FAX: 03-6451-3412
MAIL: pr@ecoru-togoshi.jp (指定管理者:アクティオ株式会社)

